

■ 沼津市都市計画マスタープラン・ワークショップ意見の都市マス（市政）への反映

（１）新たな交通基盤を活かしたまちづくり

	●都市マスに反映 ○他計画で取組中、対応等	WS 意見	
		趣旨・概要	意見詳細
まちづくりの方向性	● P 1「新たな交通基盤の利便性を活かせる地区に産業や交流人口を受け止める機能を導入」	企業誘致（産業系）による雇用の増加	・土地利用、企業用地（就業場所） ・雇用も増やす ・工業団地の誘致（高速に近い立地で） ・工業団地 ・工業用地として利用 ・市内優良企業（工場）誘致 ・ファルマ・バレー ・大学（医科大学）の誘致 ・研究機関の誘致 ・流通の拠点 ・物流倉庫
		市の北の玄関口として、観光客等を受け止める にぎわい機能の導入	施設整備による観光客の誘致
			・沼津の入り口として沼津に興味を持つような施設づくり、観光 ・商業団地 ・大規模集客施設（テーマパーク等） ・複合型商業施設 ・Culture（本）+Sports+Café&Rest、文学井上靖 ・道の駅のような施設をつくる ・レジャー施設、海を眺めながらグルメ、etc ・サービスエリアを作る（特産物の PR・沼津外の人も取込む） ・IC を使う目的になるものがない
			観光客への周知
土地利用にあたっての留意点	● P 4「ファルマバレープロジェクトや内陸フロンティアを拓く取組との連携」	県の内陸フロンティア構想との連携	・内港フロンティア、特区の指定は！
	● P 4「本市全体の振興に資する環境に配慮された機能の誘導」	地区だけでなく、市全域への効果の波及	・沼津市にも利益があるような企業を設置する ・地域の発展（※人を留めさせる）
	● P 4「計画的で秩序ある開発を誘導」	周辺も含めて土地利用（導入機能）の再検討	・1号線の根方街道間、企業誘致 ・長泉町と一体的な土地利用（職場近接） ・インター沿道の再編（大規模コストコ等） ・都市で働く人に住んでもらう ・地区周辺は、生活圏にはしない（×2）
	● P 4「周辺の環境や景観への配慮」	農業・自然環境への配慮	・自然との共生（山林・農地・etc） ・自然環境を壊さない ・あるいは自然の再生地、大規模ビオトープ ・環境の負荷をかけない（ゴミの処理） ・排水（大きな川） ・大気汚染（人が近くに住んでも快適なように） ・環境面から公共交通の必要性
	● P 4「周辺の渋滞緩和に寄与する交通基盤整備」	渋滞解消・改善	・道路整備（車の渋滞解消） ・バイパスが混まないようにして欲しい ・接続道路（スムーズな交通） ・通勤渋滞あり ・東名・新東名・R1 に従って東縦貫道の西側の整備、物流の外側への回避による交通渋滞改善
	○地域公共交通網形成計画等で、今後、バス業者等とともに検討	市南北間の交流を強化する公共交通導入	・市民が利用できるバスを走らせる
その他、土地利用にあたり必要なこと	● P 4「計画的で秩序ある開発を誘導」	効果的な土地利用を促すため土地利用規制内容を再考	・規制を見直す（農地、遺跡） ・農地の開放と有効利用、東名より北側 ・愛鷹S I C・新東名S I C農振地区の撤去
	● P 4「周辺の渋滞緩和に寄与する交通基盤整備」	土地利用を促し、市南北間の交流を強化する道路整備	・道路行政に力を入れて、南北方向の道路整備 ・中心街からのアクセス ・中心市街地に人が来ない、住まない、沼津のよさ伝えられない ・東名・新東名～1号線へのアクセス整備 ・行政によるインフラ整備 ・I C ・交通整備

(2) 沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり

	●都市マスに反映 ○他計画で取組中、対応等	WS 意見		
		趣旨・概要	「訪れたい・訪れられる」中心市街地に必要なものに係る意見	「住みたい・住まれる」中心市街地に必要なものに係る意見
場所・機能	●P 8「新たに生まれる土地を活かした都市構造の再構築」 ・医療・福祉、防災、行政機能など、生活利便性の向上を図る新たな都市機能の導入 ・市全体の公共施設の再配置や、民間施設の立地の誘導	商業機能の充実 ・大規模商業の導入 ・日用品買物利便性の向上 ・専門品取扱店の増加	・ショッピングモール ・店舗をまとめて半日、1 日単位で楽しめる場所 ・オリジナルな店舗、レストラン、酒場 ・日用品、洋服の買い物ができる店 ・専門書の多い本屋 ・茶葉の専門店 ・茶葉専門店と喫茶店の連携 ・おしゃれな店	・ショッピングモール（イオン・川崎モール） ・生活雑貨の充実 ・歩行範囲内で生活用品が揃う ・雑貨屋 ・木材の専門店 ・オーディオ関連ショップ ・パソコンショップ（パーツ等） ・電気屋さん
	●P 1 0「まちなか居住の誘導と支援」 ・日用品店舗、高齢者福祉施設、子育て支援施設など生活支援機能の理知誘導を検討	飲食店の充実	・公園や河川敷周辺を使ったカフェ ・夜でもやっている定食屋 ・食べ歩き出来る様な飲食店	・オープンカフェ（アーケード・中央公園）
	●P 9「狩野川を活かした健康・文化・交流機能の強化」	運動・レジャー施設の導入	・釣り堀などやレジャー施設 ・スポーツジム	
		公共公益施設等の充実		・専門病院（脳、心臓、etc） ・学校（専門）
	●P 8「既存ストックを活用したまちづくりの促進」 ・空きビルや空き地、公共空地等、既存ストックを活かしたまちづくりを促進 ・エリアの特性に応じた機能の配置や多様な機能の複合に配慮	多様な使い方のできる空間の用意	・日曜大工ができる、体験できる場所 ・施設を作るのではなくサービスで補足 ・芝生の広場で子供を遊ばせたい ・川がみえるCHILLスペース ・託児所	・一般の方も利用できる多目的施設 ・勉強できるスペース
環境	●P 8「都市基盤整備による中心市街地の空間的魅力向上」 ・市民の活動を活発化させるプレイスメイキングの視点で、道路・公園などの公共空間を整備・改良 ・沼津駅及び南北の商店街で形成される南北都市軸上に、多様な都市機能を集約 ●P 8「狩野川を活かした健康・文化・交流機能の強化」 ・歩いて楽しいまちなみと歩行空間の整備、自転車利用を促進する通行帯や駐車場の整備	居住者にとっても来訪者にとっても居心地のいい環境を整備	・目的なしでも行ける場所 ・帰宅時に寄りたい ・休憩ができる場所 ・体を動かしてリフレッシュ出来る場所 ・休みの日にゆっくり休むためのいい場所 ・公園（木陰・座る場所） ・ゴミに気をつかう ・楽しく高齢化を過ごすため楽しめるコミュニティ	・蛇松線のまわり 裏原宿みたいな雰囲気。 ・落ち着ける場所、ゆったりとした公園 ・歩いて楽しめる街 ・地下道から出てイーラ de を通り沼津駅南口へ行くとすると雨に濡れないようにしたい
	○観光交流課、観光協会、地元商店街等が協力し、イベントの企画・運営	イベント等により街を楽しむ機会創出	・飲み会等のイベント ・月 1 回の買い物 ・夜 10 時までで電気が切れてしまう	・「次にどこへ行く？」を用意する ・夜が楽しくなくなってきた
利便性	●分野別計画の都市交通で対応	中心市街地へのアクセス性の向上等	・市内の人がもっと気軽に使える自転車やバス ・駐車場は中心街を囲むように配置、中心街は人のためのまちに ・無料駐車場	・つなぐ交通 ・バリアフリーの街 ・安い駐車場、月極